

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和49年	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	
	小項目	施策	23	生涯を通じた健康づくりの推進	
事務事業名		12	救急医療事業		
根拠法令・例規等		医療法			
問		担当課(室)		保健課	
先		職・氏名		健康係長・江見清人	
先		電話		64-1820	
		このシート作成に要した時間		時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	救急医療を必要とする市民	
目的(何のために)	救急医療体制の充実により、救急患者に対する医療を確保し、健康で安心・安全な生活環境を整備する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	救急医療を必要とする人が、いつでも適切な医療を受けることができる。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	救急医療事業		◎
	事業の説明	休日、夜間における重症救急患者の医療の確保を図るため、県南東部圏域の病院群及び和気医師会に対し、救急医療体制整備に伴う経費を負担する。		

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	3,188	3,153	3,144
	必要人員費	人	0.02	0.01	0.02
	事業費計	千円	3,330	3,232	3,326
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
繰入金	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	3,330	3,232	3,326	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	人	2,980	2,657	2,788
	対前年比	%	-	89.2%	104.9%
	活動コスト	円	3,330,000	3,232,000	3,326,000
	単位当たりコスト	円	1,117	1,216	1,193

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
救急患者受診者数	目標値(A)					
	実績値(B)		2980	2657	2788	到達目標値
	達成率(B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明						
救急医療の必要量および医療の質においては測定不可能であり、成果指標に値しないため(目標値設定せず)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高 低い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高 低い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高 低い

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明				○					

総合評価		総合評価
少子高齢化が進み、救急医療を必要とする市民は増加傾向にあると考えられる。市民の救急医療に対するニーズも非常に高く、引き続き、適切な医療が受けられる体制の整備が必要である。また一方で、夜間・休日の「コンビニ受診」が急増しており、適切な医療のかかり方への啓発活動を実施している。		総合評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高 低い

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標				○					
取組目標		引き続き関係機関と連携のもと、救急医療の体制整備に努める。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな